

地域計画

策定年月日	令和8年3月31日
更新年月日	
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	下関市 35201
地域名 (地域内農業集落名)	王司員光地区 (神田集落、山田集落、下組集落、中村集落、河内集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	114.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	110.8 ha
② 田の面積	108.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	5.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)⑤は、王司員光地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、四王司山系を背後にした丘陵地帯が、河内地区から流れ出る員光川沿いになだらかに広がり、水田地帯を形成している。水稻やいちごなどの園芸作物の生産が盛んな農業地帯であり、農業用機械の共同利用などの集落営農も進んでいる。

しかしながら、近年の農業者の高齢化等により耕作放棄地が見られるようになっており、後継者の確保が課題である。

今後、集落営農法人の設立などを検討しつつ、新規就農者を確保・育成しながら、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農事組合法人王司を中心に、各集落での農業用機械の共同利用に努め、集落営農を行いつつ、集落営農法人の設立の検討や、地域外から希望する認定農業者や認定新規就農者を受入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で農地を利用する仕組みの整備を進める。

離農や高齢化に伴う耕作放棄を防ぐため、引き続き農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化を進め、さらに農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者等)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	26.2	%	将来の目標とする集積率
			40 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構を通じて担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
王司員光地区の遊休農地の発生を防止するため、離農や経営規模を縮小する出し手がある場合は、担い手(認定農業者等)を中心に農地の集約化を図っていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農用地の大区画化・汎用化等の基盤整備事業を耕作者の意向を踏まえながら検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる水稻育苗と防除作業及び乾燥・調製は、山口県農業協同組合への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等					
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他					
【選択した上記の取組内容】									
①目撃や被害発生場所等の情報の共有化を図り、侵入防止柵やネット等の設置や捕獲檻の設置により鳥獣害防止対策を行う。									
③農作業の効率化を図り、省力化や作業負担の軽減を図るため、スマート農機の活用を進める。									
⑦多面的機能支払制度等を活用し、農地の保全管理に取り組むとともに、水路や農道については、持続的な農業生産を行うための体制を整備する。									
⑧機械組合を活用し、農業用機械の共同利用を行う。									
⑩恋の予感などの多収米の作付けに取り組み、ミニトマトなどの園芸作物の生産に取り組む。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	①	水稲	8.6 ha	ha	水稲	8.6 ha	ha	①	
2	認農	②	水稲	7.3 ha	ha	水稲	7.3 ha	ha	②	
3	到達	③	水稲	6.6 ha	ha	水稲	6.6 ha	ha	③	
4	認農	④	水稲、野菜	2.1 ha	ha	水稲、野菜	2.1 ha	ha	④	
5	認農	⑤	水稲、野菜	1.8 ha	ha	水稲、野菜	1.8 ha	ha	⑤	
6	認農	⑥	野菜	1.2 ha	ha	野菜	1.2 ha	ha	⑥	
7	認農	⑦	野菜	1.0 ha	ha	野菜	1.0 ha	ha	⑦	
8	認農	⑧	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	⑧	
9	利用者	⑨	水稲、野菜	3.4 ha	ha	水稲、野菜	3.4 ha	ha	⑨	
10	利用者	⑩	水稲	2.8 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	⑩	
11	利用者	⑪	水稲	2.7 ha	ha	水稲	2.7 ha	ha	⑪	
12	利用者	⑫	水稲、野菜	2.1 ha	ha	水稲、野菜	2.1 ha	ha	⑫	
13	利用者	⑬	水稲	2.1 ha	ha	水稲	2.1 ha	ha	⑬	
14	利用者	⑭	水稲、野菜	1.5 ha	ha	水稲、野菜	1.5 ha	ha	⑭	
15	利用者	⑮	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	⑮	
16	利用者	⑯	水稲、野菜	1.3 ha	ha	水稲、野菜	1.3 ha	ha	⑯	
17	利用者	⑰	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	⑰	
18	利用者	⑱	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	⑱	
19	利用者	⑲	飼料作物	1.2 ha	ha	飼料作物	2.0 ha	ha	⑲	
20	利用者	⑳	水稲、野菜	1.0 ha	ha	水稲、野菜	1.0 ha	ha	㉑	
21	利用者	㉑	水稲、野菜	0.8 ha	ha	水稲、野菜	2.7 ha	ha	㉑	
22	利用者	㉒	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	㉒	
23	利用者	㉓	水稲、野菜	0.6 ha	ha	水稲、野菜	0.6 ha	ha	㉓	
24	利用者	㉔	水稲、野菜	0.5 ha	ha	水稲、野菜	0.5 ha	ha	㉔	
25	利用者	㉕	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	㉕	
26	利用者	㉖	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	㉖	
27	認農	㉗	肉用牛	0.0 ha	ha	肉用牛	0.0 ha	ha	㉗	